

# 平成30年度 第1回 藤沢市地域福祉計画推進委員会

## 議 事 要 旨

1. 日 時 2018年(平成30年)6月25日(月)  
9時30分～12時00分

2. 会 場 藤沢市役所本庁舎5階 5-1・5-2会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員=21名

石渡 和実、 北島 令司、 松永 文和、 東田 正喜、 三枝 公一、  
戸高 洋充、 宮久 雪代、 木村 依子、 越智 明美、 市川 勤、  
定永 紀子、 南部 久子、 椎野 幸一、 川辺 克郎、 川原田 武、  
伊原 敦、 石井 康子、 堀口 陽子、 越川 玲子、 松沢 邦芳、  
江崎 康子

#### (2) 事務局=20名

福祉健康部長：片山部長  
福祉健康総務課：蓑原参事、江添主幹  
生活援護課：矢後所長  
介護保険課：寺田参事  
障がい福祉課：安孫子参事  
市民自治推進課：宮原参事  
子育て企画課：吉原主幹  
地域包括ケアシステム推進室：平井室長、三ツ井主幹、内田主幹、新井主幹、  
齊藤室長補佐、一瀬主査、糊澤、小野  
藤沢市社会福祉協議会：倉持参与、村上次長、平澤課長補佐

#### (3) 傍聴者=1人

#### 4. 議 題

##### 【委嘱式】

#### 1. 開 会

- (1) 各委員より自己紹介
- (2) 委員長、副委員長選出

#### 2. 議 題

- (1) 藤沢市地域福祉計画2020<中間見直し>について
- (2) 今年度のスケジュールについて  
【資料1】藤沢市地域福祉計画推進委員会の検討スケジュール（案）
- (3) 藤沢市地域福祉計画2020<中間見直し>の進行管理について  
【資料2】進行管理シート<施策の方向性1－（1）>

#### 3. その他

- (1) 藤沢版おれんじプランについて  
【資料3】藤沢版おれんじプランについて
- (2) 成年後見制度利用促進基本計画について  
【資料4】成年後見制度利用促進基本計画について

#### 4. 閉 会

#### 5. 開会

- (1) 各委員より自己紹介

石渡委員：この会議に出るたびに、委員のみなさまの、地域をよくするための様々な意見をお聞きできることをとても楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

松永委員：社会福祉法の改正に伴い、様々新しいテーマも出てきています。市社協の地域福祉活動計画との連携も重要なテーマの1つとなろうかと思えます。よろしくお願いいたします。

東田委員：市老連の代表として、今回から出席させていただきます。この会議は初めてですが、福祉に携わってきた経験もありますので、少しでもお役に立ちたいと考えております。よろしくお願いいたします。

三枝委員：地域福祉計画の策定に関する委員会ということでワクワクしている

ところでは、2年間よろしく願いいたします。

戸高委員：選出母体としては障がい関係ということで、今年度報酬改正がなされ、なかなか財政が厳しい状況にあります。藤沢市は障がいも含めて包括的に支援するということですので、それがどうなっていくのか、というところで、この会議でもしっかりと考えていきたいと思えます。

宮久委員：福祉団体連絡会では、これまで障がい者の災害時の要支援者の関係を主にやってきました。地域福祉、地域包括ケアの中でどのように障がい者がかわるのか、きちんと勉強して会にフィードバックしたいと考えています。

木村委員：20年以上前から、地域で子どもを育てる、ということ念頭に活動している任意団体です。最近では保育園に子どもを預けて働くお母さんが増えてきて、私の活動の意義もどうなるのか心配していましたが、子どもを保育園に預けるまで、その非常に短い期間ではありますが、つなぐ支援をしています。

越智委員：子ども会は地域の自治会に根付いており、自治会の中でも、子ども会が実働部隊として重要視されています。小学生を中心とした子どもたちの教育の場として今後も盛り立てていきたいと考えています。

市川委員：選出区分は市民代表ということで、長後地区自治連の会長をしています。この会議もだいぶ長く委員をしていて、活発な意見交換、感想が聞ける、そのため、私にとっては楽しく、様々な意見が聞けるいい会議だなと思っています。私も組織としては自治連なので、ここで勉強したことを含め、地域に伝えていきたいと思えます。

ちょっと自慢したいのですが、長後地区では地域で活動している方の名簿を行政と協働で作成しました。自治連、郷土づくり推進会議、社体協、市老連、教育フォーラム等の役員の一覧が顔写真入りで載っているの、地区で活動している方が見えるようになったのではと思っています。

また、今年度とてもありがたいのは、4回の委員会の日程をすべてお示しいただいています。そのため、ほかの行事と被ることがなく、調整したうえで全ての委員会に参加することができるかと思えます。

定永委員：善行地区の自治連から参加しています。また、個人的には地域交流サロンゆいという形で、自宅開放型の縁側を開いて3年となります。

この会議に出て、地域に学んだことを浸透させていけたらと考えています。2年間よろしく願いいたします。

南部委員：村岡のボランティアセンターにおきまして、地区で生活している高齢者1人1人と関わり、地域に根差した活動を行っています。あまり市の大きな会議でお話することはないかもしれませんが、地域の小さな声をこの場でお話していきたいと考えています。

椎野委員：防災協から選出されております。地域において、心を込めて活動していくことが重要だと認識しています。地域活動を支えているのは高齢者であり、高齢者も活動しているとイキイキしています。地域における活動も地域福祉計画に軸足を置いて取り組んでいきたいと思えます。

川辺委員：生活困窮者・生活保護の方等をNPOとして、地域の中で、様々な方々と協働しながら支援しています。この会議でも、様々な意見を参考にしていきたいと思えます。

北島委員：鶴沼地区社会福祉協議会から選出されております。地域福祉計画の細かい内容こそが地域において重要であり、この計画を地域においてどのように展開していくかが大切かと思えます。思いもよらないことや、反対もありますが、地域福祉計画に沿った事業展開をしていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

川原田委員：湘南大庭地区社会福祉協議会で会長を仰せつかっております。地区社協は地域福祉の推進を目指して行っていますが、地域福祉に関して様々な課題があります。課題解決の一環として、地区社協で2つの縁側事業を、子どもと地域の大人をつなげる事業ということで立ち上げました。またボランティアセンターも展開しておきまして、この中でも地域福祉に関することを進めています。

伊原委員

市社協から出席させていただいております。地域福祉活動計画との連携という点で、次期地域福祉計画とより一体的に作りこんでいきたいということを検討しています。一生懸命2年間取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

石井委員

民児協は16地区あり、私は藤沢西部地区に所属しています。  
民生委員は高齢の方のお世話をしているイメージがあると思いますが、子育て中の方や若い方などにも今は携わるようになってきて、幅広い活動をしています。2年間よろしく願いいたします。

堀口委員

前回の2年間は消化不良の連続でしたが、今回は3年目ということで、今までに比べ余裕を持って会議に臨めるかなと思っています。  
市民の目線で、また民生委員として見えてきたことをお話しさせていただき、お役に立てればと思っていますので、よろしく願いいたします。

越川委員

前回から引き続き参加させていただきます。普段は知的障がい者の入所施設で働いていて、また、2人の子どものうち上の子が今年小学校に入りました。より市民目線で参加できればと思いますので、よろしく願いいたします。

松沢委員

経歴として、県立のリハビリ施設等で働いていまして、若いころは県庁の福祉部局に出向しておりましたので、行政側の苦労も十分理解しています。  
地域福祉の推進等ということで、これから2年間藤沢市の企画に携わりたいと思います。よろしく願いいたします。

江崎委員

障がいのある息子を45年育てています。息子には、今暮らしている地域でそのまま住み続けてもらいたいと考えているので、この計画が実っていることを切に願っています。よろしく願いいたします。

事務局

続いて、委員長、副委員長の選出に移ります。選出については互選にさせていただきますと思いますが、委員の皆様よりご発言はありますか。

戸高委員

今までやっていただいた、委員長に石渡委員、副委員長に北島委員を推薦したいと思います。

事務局

ただいま、戸高委員より昨年度まで石渡委員及び北島委員の推薦がございました。こちらの提案につきまして、みなさまいかがでしょうか。

(一同拍手)

事務局

委員長席、副委員長席にお移りいただければと思います。

一言ずつお願いします。

石渡委員長

小野副市長が、地域福祉課の委員だったずいぶん前からお世話になっています。この場で新しい視点や方向性に気付かされてわくわくすることも多いのですが、それだけに責任もしっかり感じています。遅刻などせず、頑張っていきたいと思います。

北島副委員長

新しい人に副委員長を、という思いもありましたが、選んでいただいたからには、一生懸命努めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

小野副市長

委員の皆様のお話を伺いまして、ぜひ一言お話しさせていただければと思います。地域では多様な困りごとがありますが、藤沢型地域包括ケアシステムだけで考えてしまうと、1つ1つのことが見えにくくなってしまふことがあると思います。地域にもいろいろな困りごとがあると考えていまして、それぞれの人にとっての困りごとについては、1人1人にとっては、抱えている困りごとがすべてだと感じています。地域で住み続けることができることが非常に重要です。

太陽の家を作った先輩たちは、鶴沼のあの場所を作ることに大変な意味を感じていました。一人ひとりの抱える困りごとは多種多様なので、その人をどうサポートするか、またインクルーシブな地域にするために、この計画委員会でご議論いただければ幸いです。

ここで退席することが心苦しくまた残念ではありますが、石渡委員長にお任せしたいと思います。

石渡委員長

それでは議事に入ります。議題（１）藤沢市地域福祉計画２０２０＜中間見直し＞について、事務局よりお願いいたします。

事務局

藤沢市地域福祉計画２０２０＜中間見直し＞本編に基づき説明。

石渡委員長

これまでの皆さんの意見を整理して作った中間見直しについてお話がありましたが、何かご意見はありますか。

椎野委員

地域活動の中で周知するチャンスはあるが、センター長を中心とした地域の活動の中で、今回見直しをしたという表明をまずはしてほしい。

地域の中で委員が周知することもいいのですが、まずは行政や市社協から各地域に出向いて、これを説明する機会を持ってほしいと思っています。

石渡委員長

大事なお指摘をありがとうございます。

それぞれの地域とご相談の上、広げていただければと思います。

非常に重要なお意見を言っていただきました。

続きまして議題（２）今年度のスケジュールについて、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

【資料１】藤沢市地域福祉計画推進委員会の検討スケジュール（案）について説明

石渡委員長

先までしっかりスケジュールを組んでいただいているなと思いますが、何か委員の皆様からありますでしょうか。

木村委員

今年度の後半からはアンケートに関することが主体になるようなイメージを持ったのですが、アンケートだけではなく、例えば分野ごとの意見を聞き取れるような機会を作っていただくようなことができればいいのではないかと思います。

ます。

石渡委員長

現在そのようなことを検討されていることはありますか

事務局

アンケート調査だけではなく、団体等にお伺いして意見交換等含めた聞き取りについて行う予定となっています。詳細につきましては、改めてご案内させていただきます。

椎野委員

アンケートは回収率を高める必要があるのではないかと思います。ダイレクトで市からアンケート用紙が送られるのがいいのか、地域がお配りする形がいいのか。地域をよくしたい、という心の込もったアンケートだというのが伝わるとよいと思います。

石渡委員長

アンケート調査は業者に委託するような形でしょうか。

事務局

前回は15～80歳までの4000人に、コンサルを通じて発送をしています。対象については、回収率の面からも、より地域福祉に携わっている方々に、という面も含めて、柔軟に検討していきたいと思います。

椎野委員

アンケート調査の際に、表紙が添付されると思いますが、地域でも一緒にやっていくのだから協力してほしい、と入っているような心のこもった文章にすると違うのではないのでしょうか。

川辺委員

今までのやり方がいいと思います。

無作為にやらないと本当の市民の声がわからない可能性があります。福祉に関わっている方に聞けば、関心が高くなる、というのは明らかであり、回答がないことについても、無関心と考えられるため、そのことも受け止めるきっかけになるのではないかと思います。



椎野委員

無作為については意味があることだと思うので、反対はしておりません。ただアンケート調査を行うのではなく、心を動かすやり方はどうですか、と改めて発言しています。

石渡委員長

自治体によってアンケートの回収率が違うのは、行政の思いが伝わるかということも大きいのではないかと思います。

松永委員

今年度は大きく2つの議題ということの整理でしたが、進行管理と次期計画に向けた動きはつながっている部分かと思えます。計画にもあるとおりのPDCAに則った形で進めていくことが重要だと感じており、今の地域福祉の論点をしっかりと押さえていくことが重要で、周知をどのようにするか、行政計画であるのであれば、地域の方々や策定にあたり意見を聞いた関係機関等とも意見交換等を行うべきだと思います。

計画本編の54ページにアンケート調査について記載がありますが、アンケート内容の十分な議論がなされたかという思いもあります。

今年度の委員会では、地域福祉にかかる意見交換が議題として設定されていることは評価すべき点かと思えます。ただ、地域福祉に関する意見交換を実際に行うためには、前もってテーマを絞ることも必要かな、と思えます。

地域福祉計画が上位計画といわれている中では、地域福祉活動計画はもちろんのこと、分野別の計画との関係性についても、自殺や成年後見に関する計画も含めて、検討していく必要があると考えています。

石渡委員長

今のご意見について事務局として何かありますか。

事務局

地域福祉活動計画や分野別の計画との連携については、その通りだと思います。また、意見交換の部分については、共通テーマ等を設定した中で進めていきたいと考えております。共通の課題や関心の高い部分など、この会議でご議論いただいて、次の計画改定に生かしたり、各地域の団体等にフィードバックしたりできればと考えています。

石渡委員長

ありがとうございます。事務局としても非常に考えていただいた中で意見交換の時間を設けていただいたのかと思います。

続きまして、議題（３）藤沢市地域福祉計画２０２０＜中間見直し＞の進行管理について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

【資料２】進行管理シート＜施策の方向性１－（１）＞について説明

石渡委員長

事務局もいろいろ進行管理方法について検討していただいて、施策の方向性の９本について、行政の取り組み、行政以外の取り組みということでシート作っていただきましたが、ご意見ありますでしょうか。

椎野委員

前回の議事録を確認しましたが、委員皆さんの意見がかなり反映されたものになっていると感じました。施策の方向性ごとに進捗管理する、という部分について、また、行政以外の取り組みの部分についても、私、松永委員、西山委員が発言しているとおり重要なことなので、今のご説明のとおりでよいかと思います。ただ１点、ゴールからの発想として、数字がないから見えてこないところがあるので、数字が使えるものは数字で示してもらえたらよいと思います。

石渡委員長

進行管理の方法として提案いただいた形は、前回までの議論をうまく整理していただいたということで評価していただきました。

それぞれについての客観的な尺度について意見がありましたが、いかがでしょうか。

事務局

ご指摘のとおり、具体的な数字が見えないと判断がつかないと思うので、できる限り、数字を入れていきたいと考えています。どのような数字を入れていくかは検討させていただき、委員の皆様にもご相談させていただければと思います。

椎野委員

社協も参加いただいて、御所見地区では御所見における共通課題についての報告会があり、いろいろな団体が出席しています。それぞれの団体が連携してで

きることは何かを検討する場にもなっているため、いい活動だと感じています。事務局からご回答いただいた、数字についても期待しています。

石渡委員長

国の独立行政法人の評価をいくつかやっていますが、事業等が明確なため目標値も明確になっているという部分がありますので、地域福祉計画の進行管理は非常に難しい部分があると思います。

戸高委員

たくさん項目がある中で、進行管理を行うにあたりいくつか選ぶということになると、選ぶ根拠を明確にすべきかと思います。

松永委員

進行管理については、できていないようなところも少なくないと感じているので、事務局がしっかりやろうと感じているところは非常に前向きだと感じています。また、進行管理の項目として、行政と社協と地域の取組と分けていますが、例えば委託事業は市の事業とみられる場合が多いと思いますが、委託事業を除くと、市のところにどれだけのものが残るのか、社協の独自事業がどれだけ残るのか、委託事業の取り扱いで枠組みが変わっていくのではと思います。また地域福祉については、施策に落とし込めない地域活動がたくさんありますし、また評価も数字に落としていくことが妥当、妥当でない、というタスクゴール、プロセスゴール、リレーションシップゴールという3つのゴールがあります。主たる目的でない部分にも、成果を拾っていくことが地域福祉計画の評価においては重要で、また、予定していた事業ができた、人数が集まったとかではない部分も重要だと思います。

石渡委員長

3つめのリレーションシップについては、地域のつながりみたいなものが地域福祉計画では重要だと感じましたし、戸高委員の根拠の明確化のお話についてなど、積極的なご意見をいただきました。

宮久委員

本人や家族に障がいのある人がいる団体に所属してしまして、先日、団体の集まりで藤沢型包括ケアについて説明いただきました。団体の方からは、居住する地域によって安心と不安の格差が出てくると非常にやりきれない、という意見が出てきていました。進行管理の地域における取組の中で、地区ごとに特色

がありますが、先進的な事例のみを上げても、本当のところは見えてこないという不安があるので、うまく取り組めなかった部分の地域特性や課題も見えないといけなのではないかと感じています。

石渡委員長

失敗から学ぶ、というところも重要かとは思いますが。大事な指摘ありがとうございます。

椎野委員

地域特性が重要だと思います。

この間の大阪北部の地震だって、名簿すら出していない行政が多くあります。この地域ではよい取組をしているとか、この地域では頑張っている取組と頑張っていない取組がありますよといったことを示して、やってない理由は何かを検討するというのも大事だと思います。地域の協力性がないからできないといったこともあるかと。自治会非加入率が20%以上になったことも要因の一つかもしれませんし。

石渡委員長

安心安全に地域格差があっちゃいけないというのがやはり行政の役割ではないか、と感じました。

それでは、3. その他ということで、藤沢版おれんじプランについて説明をお願いいたします。

事務局

【資料3】藤沢版おれんじプランについて説明

石渡委員長

認知症に関していろいろ取組が進んでいると感じました。

こちらの担当課はどこでしょうか。

事務局

事務局は地域包括ケアシステム推進室で、藤沢型地域包括ケアシステムの専門部会に在宅生活の支援という部会がありますので、その中で素案を関係各課と作成したいと考えております。

江崎委員

おれんじプランは主に認知症対策だと思いますが、高齢者の視点についても入ってくるのでしょうか。

#### 事務局

認知症に関わる家族や社会という部分はもちろんのこと、広く高齢者全般の予防や、偏見のない社会の実現に向けて、また、子どもたちの理解も含めた、街づくりという視点で考えてまいります。

#### 定永委員

一例ですが、3月に善行地区社協で、善行中3年生に対して、街で認知症の方に出会ったらどうするか、というような講座やロールプレイを行いました。とても評判よく、また来年度も中学校と協力して実施したいとお話しさせていただいています。この取組が続いていくといいなと思っております。今回報告させていただきました。

#### 事務局

高倉中や湘洋中と認知症に関して一緒に取組を進めていたり、鶴沼の民生委員や学童などにおいても非常に幅広く認知症に関する取組を行っていただいているので、今後もより広がっていけばと思っています。

#### 市川委員

認知症になった人やなりそうな人が対象ということですが、なりそうな人の不安感や心配を計画の中に入れていただけたらと思います。不安感をお持ちの方もお話をいろいろ伺うことで一度落ち着く、でもやっぱりまた不安になるといったことがあるので、そういった点をこのおれんじプランの中に盛り込んでいくことを検討していただけたらと思います。

#### 北島副委員長

鶴沼地区でも認知症に関することをいろいろやっていますが、認知症当事者の女性の方が40分原稿なしで講演を行っていただきましたが、20分後には私ここで何をしているのだろう、といった状況になっていました。また9月にも講演をお願いする予定ですが、当事者ご本人が説明をする、話をさせていただくことはとっても参考になると感じました。また、特に認知症になりそうな人の思いが分かるような講演会もいいなと思っています。

#### 石渡委員長

私の同僚でも認知症に対して不安な声が出るようになってきています。そのあたりも考えた計画になると心強いと思います。

続いて、もう1つ成年後見制度利用促進基本計画について、説明をお願いします。

事務局

【資料4】成年後見制度利用促進基本計画について説明

戸高委員

国では、日常生活自立支援を縮小させて、成年後見にシフトしているような動きがありますので、ここを市町村に支えていただければと思います。この事業自体の存続が危うくなっている市町村もある中では、非常に大きな問題になると感じています。

石渡委員長

日常生活自立支援事業が切り開いてきた成果はとても大きく、成年後見とは別の役割があるのではないかと、という議論もありますし、重要なお話かと思えます。

堀口委員

市民後見人の養成講座において、市では何人くらいが育成されて、実際に活動されているのか教えていただければ。

事務局

市民後見人の状況につきまして、今まで平成27年、28年の2回にわたって養成講座を実施しまして、8人の方にバンク登録をしていただき、4件の受任をすることができています。

今年度に入っても、市民後見人に関する審査をしております。また、来週あたりから市民後見人養成講座の選考について、県社協主催で会議があり、3期目のコースを受講される方がスタートする予定となっております。

石渡委員長

この委員会は非常に活発なご意見が出ておまして、また、次回以降は意見交換の時間も設けていただくとのことですので、委員会の時間の延長について、もし可能であれば事務局でご検討いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは進行を事務局にお返しします。皆様ありがとうございました。

事務局

熱心なご意見ありがとうございました。次回の委員会につきましては、12時くらいまで状況に応じてかかるということでご了承いただけますでしょうか。それでは最後に片山部長より閉会の挨拶をさせていただきます。

片山福祉健康部長

皆様のお顔を拝見いたしますと、各方面で活躍されている層々たる方々ということで、ご一緒させていただくことを光榮に思っています。事務局の説明が初回ということで長かったと思いますが、多くのご意見をいただき、ありがとうございました。また、次回以降に予定されています意見交換会について、私も楽しみにしております。今回のご意見の中でも重要なキーワードがたくさん出ていたと思います。小さな活動も含め、地域活動を肌で感じることによって、うまくいっている理由やうまくいっていない理由を感じることができると思いますので、市としても積極的に地域に出ていく所存です。また、今般の社会福祉法の改正の中で、福祉関係の計画の中で地域福祉計画は最上位ということで捉えられていますので、この計画は非常に重要な計画であり、そのあたりを意識した計画にしていければと思っております。今後とも活発なご議論をぜひよろしく願いいたします。本日は長時間にわたりまして、どうもありがとうございました。

以 上